

# 病の文学

## 【Literatures of Patients】

担当責任者 准教授（哲学概論） 前田 義郎

### ねらい

患者が書いた文学、手記を通して、患者の心境、苦しみ、生死感を理解する。病気には、身体的な疾病 (disease) と精神面を含む病い (illness) があるといわれる。医学によって疾病を治療することはできるが、それによって必ずしも病いが癒されるわけではない。そこで、患者の体験した病いや生死の意味を、患者や家族自身の言葉を通して理解することを試みる。

こうした作業を通して、患者の感情、心境だけでなく、態度、人生観、世界観をも理解することが可能になるだろう。

### 学修目標

1. 「病の文学」を読み、患者自身の側から、患者の考え、感じ方を理解することができる。(VI-1)
2. 作者の文章を読んで、作者の心情を追体験できる。(IV-1, VI-1)
3. 人生の悲哀、苦悩、絶望、希望について実感的に理解できる。(VI-1)
4. 患者を理解し、ケアを実践するための備えをなすことができる。(VI-1)

### 事前事後学習の方法

授業で配布した資料を読んで、理解を深める。

### 成績評価方法・基準

科目試験と出席状況で評価し、100点のうち60点以上を合格とする。

### ○教科書

使用しない

### ○参考書

『ハンセン病文学全集』全10巻(皓星社)

藤元健二『閉じ込められた僕: 難病ALSが教えてくれた生きる勇気』(中央公論新社)

斎藤陽季『私のうつ闘病記』(文芸社)

講義: 2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.8	金	1・2	「病者の文学」を読む意義・「病い」の意味と、 デイルタイの解釈学的方法	A	4	2	前田 義郎
10.12	火	〃	「病者の文学」を読む(1)・ハンセン病文学	〃	〃	〃	〃
10.19	〃	〃	〃 (2)・ハンセン病文学	〃	〃	〃	〃
10.26	〃	〃	〃 (3)・高次脳機能障害患者の 手記 小テスト	〃	〃	〃	〃
12.7	〃	〃	〃 (4)・癌闘病記	〃	〃	〃	〃
12.14	〃	〃	〃 (5)・老いの文学	〃	〃	〃	〃
12.21	〃	〃	〃 (6)・うつ病患者の手記 小テスト	〃	〃	〃	〃